

第45回 『あいおの会』

- 失語症友の会 -

1、「失語症友の会」とは

失語症とは、脳卒中や事故などの後遺症によって、言葉を操る能力に障害が残った状態をいい、聞く・話す・読む・書くことすべてに影響を及ぼします。このような失語症の方に対して、言語聴覚士が中心となり、個別の訓練・支援をおこなっております。

失語症の多くの方は、日常の何気ない会話が不自由になり、仕事や趣味活動など、社会活動への参加が難しくなります。そこで、熱海・伊東地区では、失語症の方々のコミュニケーションの機会を作り、交流を深めるという目的で、平成18年7月より「失語症友の会」を開催しております。会には国際医療福祉大学熱海病院と熱海所記念病院の言語聴覚士や患者様のご家族も参加しております。

2、第45回「あいおの会」

平成27年6月7日(日)国際医療福祉大学熱海病院にて、失語症患者様7名とご家族様3名、言語聴覚士8名が参加し18名の方々が集まりました。天候にも恵まれ始まりました。

今回は、「自己紹介カードづくり」「都道府県クイズ」の2つを行いました。自己紹介カードは新年度恒例のイベントです。お名前や出身地、好きな物などをカードに書き込み1人ずつ発表しました。都道府県クイズは、各都道府県の名物や名所などの写真を見せ都道府県名を選んでもらいました。旅行や出身地など皆さんそれぞれが思い出話に花が咲きましたね。お茶菓子は梅やみかんなどの季節の果物が入ったゼリーを食べました。さわやかな初夏にぴったりでしたね。

最後には皆さん元気よく「富士の山」「あめふり」を歌いました♪

次回は平成27年8月2日(日)13時から、国際医療福祉大学熱海病院 地下会議室で行います。



皆さん慎重にカードを作成しています。



都道府県クイズでは思い出話が盛りあがりしました。